

2020年度 しゅりの泉こども園自己評価表

項目	内容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・昨年度の反省を踏まえて乳幼児の成長発達目標を教育、保育要領から見直しを行った。0歳～6歳まで継続した育ちを見通した保育実践を固めていくようにした。
	(2) 目標は、前年度の反省を活かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			活動が保護者主体にならないよう、個々の子供の主体性を尊重するために日々の保育の内容や環境構成など改善対策等を園内研修で話し合いをしい保育を行って行くようにした。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切におこなっているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を元に保育の改善に努めているか。		○			
日・理・程	1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○			・日々の保育の見直しが必要
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			・コロナ禍で保護者を招いて大規模な行事は出来なかったが無観客でDVD化配布した。子供の成長を見通しながら計画や内容を考え話し合い連続性のある取り組みを行い評価を繋げていくようにした。
	(2) 行事の狙いを計画時や実行時に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。			○		
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。			○		
経営・組織	分掌体制	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか。			○	・うまく機能していない部分もあるので、職務を明確化し園内研修にて活動報告する事で活動をうながした。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。			○	
		(3) 職員の配置は、適材適所になっているか。			○	
		(4) 係りや仕事の分担は適切か。			○	
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		・保育に反映できるような方法を考えていきたい。 ・会議の目的・内容を明確にし実施
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を積極的に実施しているか。		○		
		(3) 各種会議の回数、時間、内容は適切か。		○		
	クラス	(1) 0～1歳と2～5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○		教育保育要領を学び合い乳幼児期における発達援助を理解し実践できるように保育を行い子どものやる気を育てるために習熟度別に取り組んでいる活動では、チーム保育を行い活動をおこなった。
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。			○	
		(3) チーム保育を適切に行っているか。		○		
	安全・保健・指導	(1) 0～1歳と2～5歳の保健対策は適切に行われているか。		○		・保護者を含めての訓練を行いたい がコロナ禍の為実施が出来なかった 次年度は地域の人を含めての訓練が出来るようにしたい ・保健対策適切に実施した
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○		
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への普及・情報提供を実施しているか。			○	
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。			○	
	情報	乳幼児や保護者に関する個人情報適正に取り扱っているか。		○		・慎重に取り扱っている。
研修会・講習会について	(1) 各種研修会・講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		・園内研修にて個々に受診した研修を園内で報告実践に繋がった。 ・職員間で意見交換を行い、保育士自の気づきを深めた	
	(2) 各種研修会・講習会への参加について、職員のニーズを把握して参加させているか。			○		
	(3) 各種研修会・講習会で得た成果を園内で還元しているか。			○		
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		・ヒヤリハット会議等で報告された内容を全職員が熟知、理解していくように会議を実施したり情報を提示したり職員で理解する	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。			○		
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。			○		
出納・経理	各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○		・処理している	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。			○	・乳幼児期における発達援助を理解し実践できるようにして行きたい。 ・今年度はコロナ禍で小学校交流活動が出来なかった。 ・保育士間で交流、相互の理解を深めた。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○	
		(3) 保育教諭同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。			○	
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。			○	
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。			○	
	地域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○	・参観日も一日1クラス限定にして、喚起などの三密を行い実施した。
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。			○	
		(3) 地域の行事に積極的に地域の文化や生活に触れているか。			○	
	子育て推進支援	(1) 地域の子育て支援センターとして、園庭や保育室等を解放しているか。			○	・前半は、地域の子育て家族に園を開し提供したが後半感染拡大の為ホームページ等で園生活の情報を発信した。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○	
		(3) 職員による育児にかかる「子育て相談」は充実しているか。			○	
	情報の発信	(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を取り、保護者にとって必要な情報を共有しているか。			○	
(1) 園だより・クラスだより、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。			○		・ホームページ等で保護者に発信、情報伝えるようにしている。	
評外評価	(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○	・園につきやすく投稿しやすい場所に意見箱の設置を行い行事の度アンケートを取る	
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。			○		